

香川の「平成」



変わりゆくふるさと

第6部 安全・安心・健康

⑧

の確保に余念がない。

2003(平成15)年、県は

自治体病院の新設では、10

県内の医師数は2683人。

人口10万人あたりは276人

に新県立白鳥病院、12年に

に新県立白鳥病院、12年に

に新県立白鳥病院、12年に

に新県立白鳥病院、12年に

に新県立白鳥病院、12年に

に新県立白鳥病院、12年に

超高齢化社会が進む中、ますます重要となってくる地域の医療体制。香川は高齢化の進展が全国よりも早く、平成に入り、全国に先駆けてI-Tを活用した遠隔医療システムがスタート。自治体の新病院設立も相次ぎ、医療の質向上へ向けた取り組みが進む。

地域医療

医師確保へ試行錯誤

一方、近年は医師不足の問題が顕在化。医師の長時間労働はもとより、診療科が開設できなかつたり、入院機能を持てなかつたりする病院もある。「人生100年時代」を支える地域医療の充実に向

かがわ遠隔医療ネットワーク「K-MIX」の運用を始め、I-Tを活用し、参加医療機関が患者の画像データをメー

ルのように簡単に送受信できるようになった。14年からは中核病院も本格的にネット

ワークに加わり、画像データを含む診療情報が共有できる

方、屋台骨となる医師や看護士らの人材不足が深刻化して

いる。高松市は今年11月、新築移転を計画する市民病院塩江分院について、入院機能のない「診療所」に変更して整備する方針を示した。その主な理由が人材不足だった。

県によると、16年末現在の人口10万人あたりは276人

に新県立白鳥病院、12年に

「人生100年時代」を支える地域医療の充実に向

かがわ遠隔医療ネットワーク「K-MIX」の運用を始め、I-Tを活用し、参加医療

機関が患者の画像データをメー

ルのように簡単に送受信できるようになった。14年からは中核病院も本格的にネット

ワークに加わり、画像データを含む診療情報が共有できる

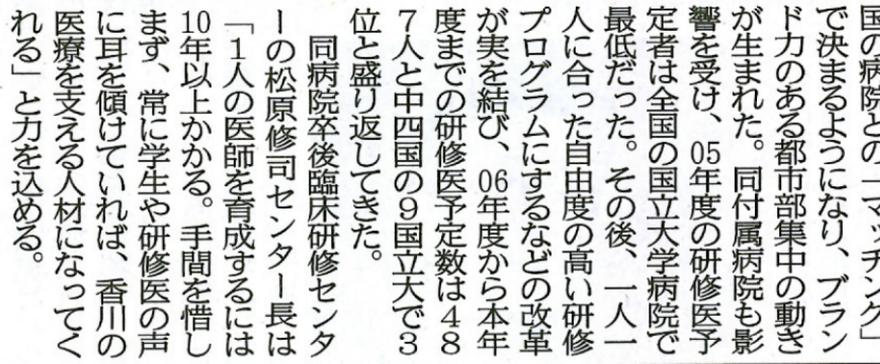
方、屋台骨となる医師や看護士らの人材不足が深刻化して

いる。高松市は今年11月、新築移転を計画する市民病院塩江分院について、入院機能のない「診療所」に変更して整備する方針を示した。その主な理由が人材不足だった。

県によると、16年末現在の人口10万人あたりは276人

資金を貸し付け、一定期間、入試を開始。27年度には制度
県内の指定医療機関で勤務す
を利用した勤務医が約100
れば返還を免除する「地域枠」
人になると見込む。

香川大医学部も医師定着に
力を入れる。卒業後の研修医
先が04年度から、医学生と全
国の病院との「マッチング」
で決まるようになり、ブラン
ド力のある都市部集中の動き
が生まれた。同付属病院も影
響を受け、05年度の研修医予
定者は全国の国立大学病院で
最低だった。その後、一人一
人に合った自由度の高い研修
プログラムにするなどの改革
が実を結び、06年度から本年
度までの研修医予定数は48
7人と中四国の9国立大で3
位と盛り返してきた。



相次いで新設された自治体病院。医師らの確保が課題となっている(シーシュ)

祝 高松市立みんなの病院 開院式典